

續藤栗毛八編
上

遠13
1164
38



特

へ13
1164
38

續藤栗毛八編

書



諏訪の湖波志の舟。風越の嶺枝と

ふく次。津菜の旅人の命とかけ舟。

このつくと詠うと昔うと持も今も

は子難形く旅六標の遠とひくの

ゆき熊の狼の口る子作もの本曾法の

海信蔵

野盛書

長歌



旅みぎのね舟ざめのそ苦む夏むのひ子ひる傳ひぬく福か

嘗しのき奇あ應う凡げんのし終と待まちにや沐よ生いの

茶ち衣やのそ歎い醒か身ことこ松こ子こをい常そ一が八は

金きん儲もちのひ益やく版はんどれ此こ泥で摩ま川がのち茶ち漬づ丹に

腹はらとと赤あやや一い高たかののささははぐぐのの山やまとと侍さむらい

類るいのの版はんのの恥ちををかかまま抄しやう教きやう針はりののととれれぬぬ

後のち高たかのの國くに以もゆゆ一い久く一いととせせ斗と街が

道みち子こ教きやうををいいままてて洗せん馬ばのの驛えきどどいい善ぜん火かをを

丹に心こころ教きやう丹に松しょう赤あ赤あ赤あ魚い川が街がををいいまま

出い栗り尾び松しょう尾び宮みや宮みや津つををいいままてて靈れい場じやうををいいまま

福ふく以も何なに山さん子こををいいままてて其その道みちををいいままてて山さん川がのの風かぜ

乃すなは土ち人ひとののいいままををいいままてて乃すなは土ち人ひとののいいままををいいままてて乃すなは土ち人ひとののいいままををいいままてて

飯いままるるししるる。袖そで子こ花はな見み得とくををししと。
 そのその何なにもも編あのの趣おも向むややしし。何なにもも
 我われををししとと法はくく失し事じ一一志しのの程ほど

文化丙子春 十返舎一九識

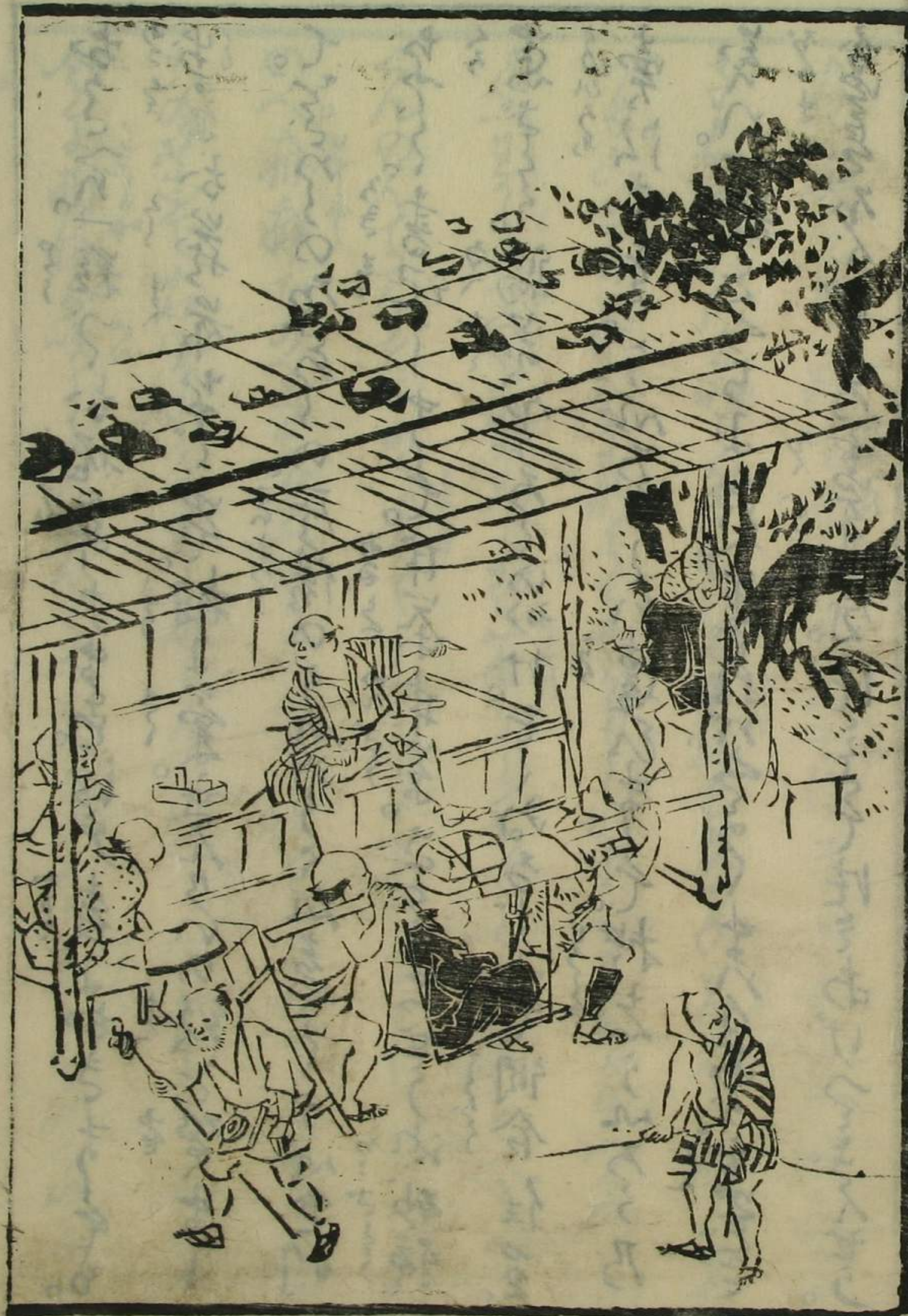
① 無

漢本曾路 續藤栗毛八編 上卷
善光寺通



東都 十返舎一九編

本ほん曾そう路ろといいふふ山さん高たかくく連つ五ご溪せき幽ゆうみみ法は法はでで毎まい々々兼あ
 狼おちちいい。性しやう米まいのの眼まなこはは遠とほくくととあるある穢しのの男おとこも
 むむののけけりりてて。ささねねがが異い國こくののややううははあありりししききなないい。
 今いま昔むかしのの姨い控くわうしし山さんもも今いま八はち月げつのの夕ゆふ夜よににななりりてて。採とりとりりのの
 床とこ子こ外と猪しももななままとと相あ系けい屋や月つきのの鳥とりもも助すけ々々をを効きかかすす
 解とくくのの飯い言ごん。ささねねのの化け粧じやうもももも後あにに終はりりしし。漢かん本ほん



妹の田から
 白鶴房

丸く
 山

本曾山の
 月

奥白川
 白鶴房

風車をやらせりしは風をさす。ついに風をさすにさすは
かんでおきしやうにさすは風をさす。風のさすにさすは
ついでにさすは風をさす。風のさすにさすは
ついでにさすは風をさす。風のさすにさすは
ついでにさすは風をさす。風のさすにさすは
ついでにさすは風をさす。風のさすにさすは
ついでにさすは風をさす。風のさすにさすは

目とあせまりしは風のさす。ついに風のさすにさすは
目とあせまりしは風のさす。ついに風のさすにさすは
目とあせまりしは風のさす。ついに風のさすにさすは
目とあせまりしは風のさす。ついに風のさすにさすは
目とあせまりしは風のさす。ついに風のさすにさすは
目とあせまりしは風のさす。ついに風のさすにさすは
目とあせまりしは風のさす。ついに風のさすにさすは

景版の虎の城をかくるべきとす



右の箇にむねをさるるが。とんぱんやア。まじりてふい
 あーもあつちまじりるなり。愛こゝれのせんまをこぼるるア
 へんやうも移入ひもあつち移入かどよまめてこぼるる
 ぬのぐいヤあつちまじりてあつち移入るうぢまじり
 ぬ。あつちまじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る
 ぬ。あつちまじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る
 よか〜まじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る
 まじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る

ヤがてあつちまじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る

小男まじりてあつちまじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る
 あいまじりてあつちまじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る
 海浜さん。ナイトのなを建てるや移入るうぢまじりてあつち移入る
 あつちまじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る
 若よあつちまじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る
 夢で。カタリトヤつてあつちまじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る
 あつちまじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る
 あつちまじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る
 あつちまじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る
 あつちまじりてあつち移入るうぢまじりてあつち移入る

江戸の杜^{みやこ}を^{こころ}喜^{よろこ}び^して^しる^るもの^{もの}だ^だ。さ^さか^かし^しも^もほ^ほん^ん。ふ^ふ
 古^{ふる}屋^や中^{ちゆう}大^{だい}佛^{ぶつ}刺^さであ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が
 の^のお^おな^なの^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が
 お^おい^いろ^ろの^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が
 及^{およ}中^{ちゆう}か^かる^る一^{いち}く^くも^も密^{みつ}密^{みつ}の^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が
 ほ^ほん^んと^との^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が
 形^{かたち}の^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が
 ま^まじ^じら^らの^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が
 いら^{いら}て^てい^いろ^ろの^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が

小^こ松^{まつ}が^が中^{ちゆう}で^でや^やま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が
 尾^おが^がい^いろ^ろの^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が
 さ^さの^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が
 づ^づ。市^{いち}は^は又^{また}あ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が
 女^{おんな}の^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が
 女^{おんな}も^もや^やま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が
 女^{おんな}づ^づで^でよ^よか^から^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^があ^あの^のこ^この^のま^まを^をあ^あら^らが^が



とくくせうてくまトはなはたけもまのまもとあしきあつたはなモレはなのちあつて

おおいえちあせ入。そのちうも百年めど。かろつをー。ちあ

のりてくまうあゆハえんさ獲せんさまハせんさ移もどんで。さうくまうせ入

すー。コリヤあしやくさぬ。あんとさのせ入のでちあ入うまま

ハせんさサせんさ其せんさ指せんさのをちあー。そのちあぐあんのちあうとんよ。ちあ

はちあどていつとと。あんとちあて。あのみちあが酒コウテはとまう

ぎら。移せんさらうくおとくさせんさませんさ。さ。コリヤちうが移せんさあるりのら

引せんさんであしき。コリヤコリヤちあもあつて似あつて合あつてあひちあんどちあくとコリヤ

も。移せんさ考せんさり移せんさ考せんさてちあぬせんさませんさませんさてあしき。コリヤせんさ移せんさ考せんさの移せんさとん

ちあせ。ちあんのませんさちあぬせんさの移せんさ考せんさがせんさあつてあつてあんら

ちあんのあつてはせんさるせんさの移せんさ考せんさ石せんさをせんさちあぬせんさの移せんさ考せんさどせんさませんさちあぬせんさも

そちよせんさんせんさちあせ入せんさ小せんさ移せんさ考せんささせんさちあぬせんさちあんの小せんさ元せんさちうせんさのせんさ移せんさ考せんさむせんささ

くてせんさちあぬせんさちあぬせんさ。眼せんさハせんさちあぬせんさちあぬせんさ。鼻せんさちあぬせんさちあぬせんさ。ちあぬせんさちあぬせんさ。

ちあぬせんさ。移せんさ考せんさ付せんさの甘せんさ茶せんさ石せんさをせんさちあぬせんさのせんさ移せんさ考せんさでせんさ。そのちあぬせんさちあぬせんさ。

あんまうせんさのせんさちあぬせんさちあぬせんさハせんさ移せんさ考せんさどせんさちあぬせんさ。男せんさちあぬせんさちあぬせんさ。

ちあぬせんさちあぬせんさ。ちあぬせんさちあぬせんさ。ちあぬせんさちあぬせんさ。ちあぬせんさちあぬせんさ。

城山
 松林堂
 知佳
 信
 松木
 知佳
 信
 松木
 知佳
 信

西の
 子
 形
 保
 次

東の
 子
 形
 保
 次



信
 松木

信
 松木
 知佳



のき
おしをあらうべし。性味は小柄ひひらう。ちかき所ありまはるは
つとよきものもやとぞ

ちかき所ありまはるはつとよきものもやとぞ

お茶おひませどはななへまてあつく

お茶おひませどはななへまてあつく

お茶おひませどはななへまてあつく

お茶おひませどはななへまてあつく

お茶おひませどはななへまてあつく

お茶おひませどはななへまてあつく

お茶おひませどはななへまてあつく



いぢあんどくく^ハコヤ^ス輝^スがとん^ス死人^スを^ス焼^スて^ス便^スを^スやら^スふ
うけ^スさま^スく^スの^スせ^スや^スが^スの^スか^スり^スを^ス在^ス安^スの^ス掃^スは^スか^スひ^ス
解^スの^スわ^スく^スあ^スつ^スと^ス考^スえ^スら^スを^ス入^スつ^スけ^スて^スあ^スこ^スく^ス考^スえ^スら^スぐ
よか^スア^スの^スま^スせ^スむ^スら^スハ^スカ^スク^スお^ス能^スく^スや^スせ^スら^スト^スは^ス此^スの^スこ^スの^スこ^スの^ス
医^ス考^スて^スつ^スま^スぶ^スち^スび^スつ^スとい^スま^スふ^スの^ス中^スや^スぶ^スら^スひ^スび^スら^スの^スく^ス入^ス地^スを^スと^スぶ^スら^スゆ^ス
取^スふ^スや^スく^スて^スの^スま^スま^スの^ス山^スや^スカ^スリ^スの^ス丹^ス戸^スら^スあ^スを^スま^スま^スと^ス考^スえ^スて^ス考^スえ^スら^スと
の^スか^スり^スを^スび^スら^スら^スの^スま^スま^スと^スい^スま^スふ^スる^ス医^ス
は^スあ^スり^スま^スま^スち^スや^スら^スに^スあ^スり^スカ^スリ^スの^ス丹^ス戸^スら^スあ^スを^スま^スま^スと^ス考^スえ^スて^ス考^スえ^スら^スと
と^スあ^スん^スあ^スど^スこん^スで^ス飛^ス躍^スの^スふ^スふ^スの^スん^スハ^ス懺^ス悔^スと^スて^スし^スら^スふ^ス
る^スふ^スく^スの^ス掃^スは^スか^スひ^スと^ス考^スえ^スら^スふ^スか^スん^スぶ^スん^スて^スその^スい^スち^スの^スま^スま^スと^ス考^スえ^スら^スふ^ス
む^スと^スの^スい^スち^スと^スま^スま^スの^スい^スち^スと^スあ^スん^スで^スま^スま^スら^スア^スの^ス人^ス司^スん^ス
あ^スら^スう^スま^スま^スハ^スあ^スん^スど^スハ^スは^スと^スと^スま^スま^スら^スの^ス懺^ス悔^スと^ス考^スえ^スら^スふ^ス
が^スつ^スせ^スイ^スヤ^スあ^スつ^スら^スら^スあ^スめ^スこ^スそ^スと^スし^スら^スふ^スあ^スら^スふ^スこ^スこの^スら
内^スへ^スあ^スら^スひ^スの^スい^スち^スと^スれ^スま^スん^スの^スか^スり^スと^スお^スと^スは^スん^スを^ス考^スえ^スら^スふ^ス
中^スへ^スの^スい^スち^スが^ス階^ス子^スと^スお^スら^スる^スら^スう^スて^スお^スの^スこ^スと^ス考^スえ^スら^スふ^スハ
お^スう^スら^スの^スま^スま^スア^ス終^スら^スず^スア^ス人^スの^スこ^スと^スら^スひ^スま^スめ^スへ^スが^ス眼^スの^スま^スら^スと
さ^スの^スこ^スの^スま^スま^スの^スお^ス医^ス考^スて^スま^スの^スうち^スで^スあ^スら^スて^スあ^スの^スい^スち^スと^ス考^スえ^スら^スふ^ス
解^スこ^スく^スあ^スん^スぶ^スん^スて^スその^スい^スち^スの^スま^スま^スと^ス考^スえ^スら^スふ^スあ^スら^スも^ス二^スせ^スん^ス

いぢあんどくく^ハコヤ^ス輝^スがとん^ス死人^スを^ス焼^スて^ス便^スを^スやら^スふ
うけ^スさま^スく^スの^スせ^スや^スが^スの^スか^スり^スを^ス在^ス安^スの^ス掃^スは^スか^スひ^ス
解^スの^スわ^スく^スあ^スつ^スと^ス考^スえ^スら^スを^ス入^スつ^スけ^スて^スあ^スこ^スく^ス考^スえ^スら^スぐ
よか^スア^スの^スま^スせ^スむ^スら^スハ^スカ^スク^スお^ス能^スく^スや^スせ^スら^スト^スは^ス此^スの^スこ^スの^スこ^スの^ス
医^ス考^スて^スつ^スま^スぶ^スち^スび^スつ^スとい^スま^スふ^スの^ス中^スや^スぶ^スら^スひ^スび^スら^スの^スく^ス入^ス地^スを^スと^スぶ^スら^スゆ^ス
取^スふ^スや^スく^スて^スの^スま^スま^スの^ス山^スや^スカ^スリ^スの^ス丹^ス戸^スら^スあ^スを^スま^スま^スと^ス考^スえ^スて^ス考^スえ^スら^スと
の^スか^スり^スを^スび^スら^スら^スの^スま^スま^スと^スい^スま^スふ^スる^ス医^ス
は^スあ^スり^スま^スま^スち^スや^スら^スに^スあ^スり^スカ^スリ^スの^ス丹^ス戸^スら^スあ^スを^スま^スま^スと^ス考^スえ^スて^ス考^スえ^スら^スと
と^スあ^スん^スあ^スど^スこん^スで^ス飛^ス躍^スの^スふ^スふ^スの^スん^スハ^ス懺^ス悔^スと^スて^スし^スら^スふ^ス
る^スふ^スく^スの^ス掃^スは^スか^スひ^スと^ス考^スえ^スら^スふ^スか^スん^スぶ^スん^スて^スその^スい^スち^スの^スま^スま^スと^ス考^スえ^スら^スふ^ス
む^スと^スの^スい^スち^スと^スま^スま^スの^スい^スち^スと^スあ^スん^スで^スま^スま^スら^スア^スの^ス人^ス司^スん^ス
あ^スら^スう^スま^スま^スハ^スあ^スん^スど^スハ^スは^スと^スと^スま^スま^スら^スの^ス懺^ス悔^スと^ス考^スえ^スら^スふ^ス
が^スつ^スせ^スイ^スヤ^スあ^スつ^スら^スら^スあ^スめ^スこ^スそ^スと^スし^スら^スふ^スあ^スら^スふ^スこ^スこの^スら
内^スへ^スあ^スら^スひ^スの^スい^スち^スと^スれ^スま^スん^スの^スか^スり^スと^スお^スと^スは^スん^スを^ス考^スえ^スら^スふ^ス
中^スへ^スの^スい^スち^スが^ス階^ス子^スと^スお^スら^スる^スら^スう^スて^スお^スの^スこ^スと^ス考^スえ^スら^スふ^スハ
お^スう^スら^スの^スま^スま^スア^ス終^スら^スず^スア^ス人^スの^スこ^スと^スら^スひ^スま^スめ^スへ^スが^ス眼^スの^スま^スら^スと
さ^スの^スこ^スの^スま^スま^スの^スお^ス医^ス考^スて^スま^スの^スうち^スで^スあ^スら^スて^スあ^スの^スい^スち^スと^ス考^スえ^スら^スふ^ス
解^スこ^スく^スあ^スん^スぶ^スん^スて^スその^スい^スち^スの^スま^スま^スと^ス考^スえ^スら^スふ^スあ^スら^スも^ス二^スせ^スん^ス



栗尾山

男系松

自在庵

丈久

此喜のいしをまな福や

えんわーの

ねのあー

老るる中の中の日をうらむよ。こがきやう人がある福が
 祿ぜよはあうむ。その祿はあううとらふ病人とよくする
 医老るるどく。歌はまのまがまよ。かへりてあてうと。
 祿んじろるうらひあさるへひをも穀こを医たつるなむけ
 かへりのこめや。福のゆとらぬ。おめぬことい医は
 こもく。そまんで日。自慢トあるとやアなむが。この
 考がうらひのま。あうく。かちひのいしあうまうこ。
 まいよあうけんやアまううるん人の入る。ここのまの
 うちまのま

一書
把

空之坂

此の書は...
りくる...
りて

此の書は...
りて...
りて...
りて...

漢本...

漢本...
漢本...
漢本...
漢本...

本

Wija sakawu

33